JVCKENWOOD

News Release

株式会社 JVCケンウッド

2026年5月1日

IP無線機の新モデルをはじめ、自治体の防災対策に貢献する無線システム／ソリューションを提案

「自治体・公共Week2026 地域防災EXPO」に出展

～確実かつ広域な通信を実現するソリューションを紹介、害獣出没の即時検知・対応システムなどを参考出品～

株式会社JVCケンウッドは、5月13日（水）から15日（金）まで、東京ビッグサイトにて開催される自治体向けの展示・商談会「自治体・公共Week2026 地域防災EXPO」に出展します。

当社ブースでは、自治体の防災対策に貢献する無線システム／ソリューションを提案します。現場と庁舎を一つの通信基盤でつなぐ、IP無線機の新モデル「KBX-P51」（本日同時発表、6月下旬発売予定）のプロトタイプをはじめ、確実かつ広域な無線通信を実現する「移動系防災無線×IP無線連携ソリューション」、広域で独立した無線通信システムを構築する「デジタル簡易無線中継システム NEXEDGE® CR」、およびオフライン通信パッケージ「Soko-co」を展示します。また参考出品として、消防署活動系無線機の新商品、熊などの害獣出没の即時検知・対応システム、および「AIトランシーバー」を紹介します。

＜当社ブースイメージ＞

＜主な展示内容（当社ブース：西展示棟 西2ホール「地域防災EXPO」内 G11-53）＞

1．広域に一斉通信が可能、現場と庁舎を一つの通信基盤でつなぐIP無線機の新モデル

6月下旬に発売を予定しているIP無線機の新モデル「KBX-P51」のプロトタイプを展示します。本機は、株式会社サイエンスアーツのIP無線アプリ「Buddycom（バディコム）」を搭載した初のIP無線機です。本機とスマートフォン／タブレットを連携して、現場と庁舎を一つの通信基盤でつなぐ運用が可能です。また、最大3つの通信回線に対応し、通信環境に応じた自動切り換え機能により、安定した通信を実現。さらに、通話音声を27言語に自動翻訳する機能（オプション）を搭載し、当社ブースにて翻訳のデモンストレーションを実施します。

＜IP 無線機「KBX-P51」＞

2．確実な通信と、広域の通信を組み合わせた「移動系防災無線×IP無線連携ソリューション」

低廉かつ安定した通信を自営回線で実現する4値FSK方式の「市町村向け移動系デジタル防災行政無線システム」に、全国と通信可能なIP無線を組み合わせたソリューションを展示します。移動系防災無線のみ、あるいはIP無線のみではつながらないエリアも、両者の連携が可能な本ソリューションを運用することで、より広範囲にわたる無線通信エリアの構築を実現します。また万が一、回線障害などによりIP無線が使用できない場合も、移動系防災無線による自営の通信網を活用して通話できます。さらに、位置管理システムの導入により、移動系防災無線およびIP無線の位置情報をPCやスマートフォン／タブレットの同一の地図上で把握できます。

3．広域で独立した無線通信システムを運用できる「デジタル簡易無線中継システム　NEXEDGE® CR」

広域で独立した無線通信システムを、従事者免許不要で運用できる「デジタル簡易無線中継システム　NEXEDGE®　CR」を展示します。デジタル簡易無線中継器「TCB-D239CR」は、小型・軽量で持ち運びも可能なため、有事の際は現場まで移動させて設置・使用できます。また、衛星ブロードバンドインターネットサービス「Starlink　Business」（提供：株式会社アクティオ）との連携により、自営回線の通信エリア外との通信も可能です。

<デジタル簡易無線中継器「TCB-D239CR」>

4．デジタル簡易無線機と連携し、位置情報を共有するオフライン通信パッケージ「Soko-co」

当社製デジタル簡易無線機「TCP-D751」と、スマートフォンアプリ（開発：株式会社BREAKTHROUGH）を連携させて位置情報を共有するオフライン通信パッケージ「Soko-co」を展示します。携帯電話の通信圏外でも無線機のデータ通信を使用することで、作業者や重機の位置の把握が可能。作業者の転倒や静止を検知して自動的にエマージェンシーコールを発報する動態検知機能も備えています。

5．本体カラーにハイビズグリーンを採用、煙の中でも識別しやすい消防署活動系無線機「TCP-235GR」（参考出品）

消防署活動系無線機「TCP-235GR」を参考出品します。煙の中で消防活動をする際にも無線機が識別しやすいよう、本体カラーにハイビズグリーンを採用。また、活動別に使用するチャンネル設定が異なる場合、1回の操作でチャンネル設定の切り替えが可能な「ゾーン設定」に対応し、通常活動、山岳対応、緊急消防援助隊の活動などのシーンに応じて使用できます。

［ご参考］当社公式 YouTube チャンネル：「TCP-235GR」における煙の中での視認性比較試験

6．「エッジAI×トランシーバー」で実現する、熊などの害獣出没の即時検知・対応システム（参考出品）

カメラに映った熊などの害獣をエッジAI（提供：株式会社R2）で検知し、当社製無線機にリアルタイムで音声やテキストで通知する即時検知・対応システムを展示。本システムは携帯電話の通信圏外でも運用が可能であり、害獣の早期発見・把握に貢献します。害獣出没の通知が無線機に届くため、常時監視を行う必要がなく、監視業務の効率化と省力化を実現します。

7．ユーザーの“いつも”に寄り添い、“もしも”の情報源になる「AIトランシーバー」（参考出品）

ボタンを押すだけでAIと会話可能なソリューション「AIトランシーバー」を展示します。持ち歩き可能なポータブルデバイスで、生活相談や地域/行政情報など“いつも”の確認をAIとの会話でサポートします。災害時などの“もしも”のときは、無線機が受信した防災情報をAIが整理・情報提供し、安否確認や位置情報による避難状況を会話で把握できます。

8．その他の展示

・全国森林組合連合会との「林業労働安全対策の強化」に向けた取り組み（パネル展示）

＜「自治体・公共Week2026」の概要＞

会　　期　：　2026年5月13日（水）～15日（金）10：00～17：00
会　　場　：　東京ビッグサイト　西展示棟［当社ブース：西2ホール「地域防災EXPO」内　G11-53］
主　　催　：　自治体・公共Week実行委員会
公式サイト　：　https://www.publicweek.jp/

●商標について

・「NEXEDGE®」は株式会社JVCケンウッドの商標または登録商標です。
・「Buddycom」「バディコム」は株式会社サイエンスアーツの登録商標です。
・「soko-co」は株式会社 BREAKTHROUGH の商標または登録商標です。
・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。